Gateway on the medicine

作詞　岡本　悠／作曲　岡本　悠

1、 揺れる炎に　心が燃える　熱い火花が　俺を叩く
そんな言葉に　涙許せば　一人こうして　旅に出たのだ

愛する言葉の裏側で　写真を取り合う人たちよ
あなたたちのことは　忘れはしない

gateway getaway getaway getaway

getaway getaway getaway getaway getaway

２、叫ぶ狼　戦う男　泣いている君　何が答えか
純情・人情　浴衣の微笑み　そんな笑顔は　朝の連ドラのヒロイン

かわいい顔した　美人顔　テレビの中だけではないさ
街にもいっぱい溢れてる　これは女の子

medicine medicine medicine medicine

medicine medicine medicine medicine

gateway getaway getaway getaway

getaway getaway getaway getaway getaway

生きることは…

作詞　岡本　悠／作曲　岡本　悠

1、 生きて行く　この日から　全てをバネにして
掴まえたい　ものがある　それは　きみの　笑顔だけさ
無理やりのような　生き方だね
女の胸に　身を落として
恥ずかしいような　生き方だね
自分の生き方　恥じるように

生きることは…　儚くて
生きることは…　わからない

生きることは…　尊（とうと）くて
生きることは…　終わらない

２、たくましい　その命　あなたは知らなくても
愛の中へと走りだす　例え敗れ去ったとしても
燃え上がりそうな　感じかただね
感性強く　涙を流して
魂のような　とらえかただね
これは一生　変わらないとしても

生きることは…　果てしない
生きることは…　意味があり
生きることは…　笑うこと
生きることは…　太陽さ

生きることは…　何の為
生きることは…　君がいて
生きることは…　変わらない
生きることは…　どこへゆく

少　女

作詞　岡本　悠／作曲　岡本　悠

眠れない夜に　一人泣いている　その泣き声　だけが
誰にも心を　開いてくれない　哀しみの音色
ささいな言葉に　涙するとか　探している　夢の中で
oh－ 僕は　ずっと　愛している　振り返る日の　少女

あなたが生きている意味は　そんな簡単なものではない
誰が言葉を育てて　喜びを表現するのか
強く生きている人を見ると　思い切り　泣きたくなるけど
人って　必ず　変われるはずさ　僕は　空を飛びたかった…

繰り返す声と　思い出の華が　身体を抱きしめた
覚えた瞳と　去り行く背中が　脳裏に焼き付いた
あの頃は　どんな時も　幸せそうに　笑ってたね
今更では　もう戻らない　抱きしめたい　少女

最後まで　抱き合ったのは　きっと　カナリアの声だろう
いつの間にか　忘れ去られた夢　きっと　それを探している
抱きしめた　最後の寝顔を　本気で　恋してしまうけれど
今こそ　夢の続きを魅せて　そっと　寄り添うこともできずに…

幸せの川を　そっと降りてゆく　岸辺に辿り着き
夕暮れの街で　願いをかなえる　私を抱きしめて
忘れちまったのか　青い空と　白い雲の下で　君は
麦わら帽子を　かぶりながら　走っていた頃を

泣き虫だと　想いながら　繰り返した　日々の中で

きみのことを　誘いながら　思い出した　時を…

立川の blues

作詞　岡本　悠／作曲　岡本　悠

暗い　テールランプに　もたれ　寄りかかってる
もう２度と　こっちを　見ないで　自分のことで　精一杯

誰かが　俺の名を　呼んでいた　ずっと
静かに　愛の名を　叫んでた
雨に打たれて　風に飛ばされ　心は落ちるばかり
僕のせいでも　誰のせいでも　ないから…

今　孤独に　なるのが　怖いんだ
ただ　寂しい夜は　弱いんだ
君から　身を引かなきゃ　駄目なんだ
わかってる　情けない　かもしれない…

立川の街　眺めながら　今を投げ出したくなった
俺は　結局　何も　解ってないから

燃える　太陽に　焼かれて　眠りたい
この目が　開かなくてもいい
愛の果敢無さ　遣る瀬想いは　誰しも通る道なのか
逝った　南武線(しゅうでん)　真っ暗な　足元…

我（われ）

作詞　岡本　悠／作曲　岡本　悠

思い出が　今の　この俺を　救ってくれる
あの頃は　確かに　大嫌いだった　話だけれど
学校では　お偉方の　教師には　見捨てられた
友達が　果たして　本当に　支えだった　訳でも　なく
中退して　１つ　失ったことと言えば　「我」という　自信が　無くなって　しまったこと

※オーベイ　オーベイ　オーベイ　好きだ！！
　オーベイ　オーベイ　オーベイ　好きだ！！
　絶望から　這い上がった　この俺を　誰か　誉めてくれ！！
　幸せへと　這い上がった　この俺を　誰か　賛えてくれ！！

野球部に　入部して　「プロ野球選手になりたい」
と
思って　走り回り　練習が　終わった後は　泥まみれ
いつも　帰り道　仲間達と　通った

中途半端な　駄菓子や　と　おでんが　おいしかった　セブンイレブン

野球のことしか　考えていなかった　「学校は野球の為」と　言ってたら　叱られ
た

※繰り返し

同い年　ぐらいの　学生達を　見るたびに　思った
僕は　もう　２度と　あんな風に　学生服を　着ることは　無いんだろう
コンビニの　お姉さんから　物を買うことすら　怖い自分に
あまりにも　優しく　傷のことを　労ってくれた

涙が　こぼれて　しまうことが　辛かった　青空を　見上げても　空しさだけ　残った

※繰り返し

絶望から　這い上がった　この俺を　誰か誉めてくれ！！
幸せへと　這い上がった　この俺を　誰か賛えてくれ！！

渋谷と若者、1999

作詞　岡本　悠／作曲　岡本　悠

渋谷の道を歩く時　いつも思うことなんだけど
なぜ　こんなに人がいるのか　一体　何しに集まっているのか
堂々と地べたに座る女子校生が
「何をしているの？」と　記者に聞かれて
「ここにいるだけで　誰かが話しかけてくれるんだ」と
何かの雑誌に　書いてあったっけ
こんなに寂しがり屋の世の中じゃ　帰りが遅くなって当然さ

だから　少しは　わがまま　許して　あげましょう

明るい　あの子も　きっと　寂しがり屋

茶髪や金髪のお姉さん達が　何かを求めて今日も街を歩く
高級バッグを肩からぶらさげて　男達の手をすり抜ける
ハチ公のそばの人の群れの中で　一人ギターで弾き語る男
恋人のことや　世の中の不満や　自分の故郷のことを歌っていた
そんなにもう一度会いたいなら　故郷へ帰ってもかまわない

だから　あなたの　ペースで　歩いて　行きましょう

自分は　ひとりで　ゆっくり　お茶を飲もう

毎日　曲がった　背中をして　無表情で　生きてるのは　よそう
（さあ）背筋を　伸ばして　笑顔作り　雑踏の中を　「ノシノシ」　歩こうよ
『俺の気持ちが解ってたまるか』と　怒りを現にしたその人よ

未来を　信じて　明るく　楽しく　生きましょう

虚しい面して生きていくのはやめだ！！

※どんなに　不可思議な　思い出も　涙が　こぼれたって　当然だ

だから　自分の人生　信じて　あげましょう
明るい　未来が　きっと　開くから

※繰り返し

幸せな一匹の魚

作詞　岡本　悠／作曲　岡本　悠

誰かと　話せば　傷つくから
なるべく　誰とも　会わないことにした
そしたら　今度は　寂しくなり
耐えきれず　結局　集団に戻った
ああ　心から　本当に　願う夢も
ああ　ぶざまにも　呑み込まれて　ゆくのか
Ah- わからない　俺の姿　孤独に憧れているふりをしているだけだ
Ah- 本当は　自分の心　人間が大好きと叫んでいるみたい

不思議な　あなたの言葉だった　私の感性に　心を響かせて
揺るぎない　言葉の裏側から
あなたの　本音を探ってみたかった
ああ　幸せな　一匹の魚になりたい
ああ　いつの間にか　自分を探しながら

Ah- 仕方ない　こんなことで　涙を流して　魂を売るべきなのか
Ah- わからない　生きる上での
人間との　付き合いが　今更　わからない

ああ　新しい　思い出を　作るために
ああ　無人島で　自由に　やらせてもらう

Ah- 哀しみとか　寂しさとか　この世になければ
他になんにもいらない

Ah- それでも　現実は来る
やっぱり　誰かが　そばにいてほしい
やっぱり　誰だか　話し相手がほしい
幸せな　一匹の魚にはなれない

手のひら

作詞　岡本　悠／作曲　岡本　悠

小さい秋が　過ぎ去ってゆく　寂しく冬が　近づいてくる
真っ赤に彩る　楓達　手のひらのように　温かく
ああ　か弱い命よ　現実を　忘れてしまったのか
ああ　憐れむ姿が　こんなにも　淡くうるんで
壊れてく　時の中で　ひたすらに　今を生きる

小さい秋は　見つからなかった　真っ白な冬に　覆われて
道行く誰かの　笑顔とか　道行く誰かの　背中とか
ああ　心のふるさとよ　現実から　目を反らすのか
ああ　震える心が　この愛を　優しく包んで
繰り返す　君の声に　懐かしく　夢を見ていた

時の中　さまよいながら　明日へと　腕を伸ばし
果てしない　詩の中で　口ずさむ　灯の声

I LOVE マチルダ

作詞　岡本　悠／作曲　岡本　悠

父親が訪ねて　母親が帰ってきて　弟に夢を与えて
そんな明るい夜に　ひとり佇んでいる
ある日　ある男性（ひと）を　少し　愛し始めたの
その人は明るい顔をして
あなた　ずっと幸せ　あなた　きっと見ていた

いっそうのこと　２人心を　結ばれたいわ
誰が　こんなわたしを　愛する　なんて言うの

こんな　素晴らしい　２人の　カラオケの　世界で
枯れるまで　笑った

今日は　自分の誕生日　今年で　２７になるわ　皆　歳を重ねて
人は　心の中で　涙を　流している
少し　雨も上がり　意味を　求め続ける
寂しがる　言葉みたいに
信じ会えたのなら　日々を重ねられる

ほんとうに　涙流さずに　力を与えて…

誰か　こんな　涙を　ゆるして　くれませんか
こんな　凍えきった　いたんだ身体を　優しく包んで
今すぐに抱きしめて…

人って　強い生き物　そんなに　凄いものなの
こんな　凍えそうな　世界の１つのベッドで　最後まで　笑顔で

Sorry Merry Christmas

作詞　岡本　悠／作曲　岡本　悠

１、I Love you Merry Christmas 灯りが 消えてゆく
雪の景色 何年ぶりになるか こんな夜 oh-
Remember sorry Christmas 涙が こぼれてく
あなたの かお 想い出して 泣いた こんな夜 uh-

君だけを 追いかけ 抱いた あの夜
ずっと 忘れなかった 今も

Merry & Christmas Happy For You
Merry & Christmas Happy For You
いつまでも こうして いたい oh-Christmas
Merry & Christmas Happy For You
Merry & Christmas Happy For You
幸せな想いの中で いつまでも　For You…

２、I thank you White Christmas 時間も 消えてゆく
二人きりで 乾杯した こんな夜　uh-

話しなど なくても 別に かまわない
この 温もりだけが ずっと

Merry & Christmas Happy For You

Merry & Christmas Happy For You
この心 抱きしめて いたい oh-Christmas
Merry & Christmas Happy For You
Merry & Christmas Happy For You
泣いている 言葉の 裏で 笑顔の need You

Yu war silent and champagne with you
Me to enjoy and fighter forever
End snow love fire
Men woman who delicious...

Uh－...

Merry & Christmas Happy For You
Merry & Christmas Happy For You
その 夢を 叶えて あげる oh-Christmas
Merry & Christmas Happy For You
Merry & Christmas Happy For You
大切な Love You...

シェリー

作詞　岡本　悠／作曲　岡本　悠

1、 シェリー　oh－　シェリー　シェリー　聴こえるかい
この小さな音が　きみを　まぎらわす
シェリー　oh－　シェリー　シェリー　好きだ
過去の人でも　それでも好きだ

燃えて　燃えて　燃える　花になれ　この想いとどくのなら
そんなに　うれしい　ことは　ない
だけど　それは　無理なことさ
遠くへ行ってしまった　あなたへ　愛を贈りたい

2、 シェリー　oh－　シェリー　シェリー　かわいい
その明るいかおが　みるみる　遠ざかる

そして　それは　はかなく　遠い　未来を　映し出している　糧に　なるから
燃え上がり　燃え盛り　そこへ　飛び込もう
僕との　思い出を　さらばに 訴えかけるんだよ

街は　時に　涙を流す　視界から　抜け出した　人とならねば

消えてゆく　その島に　涙を渡す　ぎりぎりの　闇のかなたに

夢をチラつかせ…

エンドレス・ファイヤーズ

作詞　岡本　悠／作曲　岡本　悠

1、 鏡の前　俺は　映る　自分を　見つめた
僕は　君を　愛してると　言い聞かせた

誰にも　厳しい　勇敢な　人間に　なるため
最期まで　生き抜く　覚悟を　決めた

強く　生きるのだ　誰も　己に　勝てない
妨害　されようとも　乗り越えて　みせる

2、 弱音を　吐くな　人に　すがりつくな
強く　生きてくなんて　無理だけれども
絶対に　負けるなと　叱咤激励して
恐怖に　立ち向かう　勇気を　点した

前向きに　考えろ　すぐに　切り替えて　みせろ
我の心は　それ自体で　コントロールしてあげる

みなぎる力　元気がわく歌を聴け
新しい　自分へと　たくましく　なるため

あきらめない　愛は　言葉を　超えながら
燃え上がる　炎のような　男になるのだ！

雪列車

作詞　岡本　悠／作曲　岡本　悠

1、 しんしんと　しんしんと　雪が舞い散り
白く　あかく　２人を　包んだ

見つめ合い　これからの　お互いを　語らい
深く　浅く　別れを　想った

きみは　汽車に乗り　僕に　背を向けた
出発の　ベルが　今　急ぎ足で　鳴り響く…

なぜ　なんだよ　なぜ　行ってしまうのか
なぜ　なんだよ　なぜ　行かなきゃいけない
いつまでも　傍において　きみを　見つめてたい
だけど　それは　駄目なんだよ
真剣に　語り　話し　決めたこと
お互いの　幸せのため　解って　ゆかねば…

2、 誰もいぬ　ホームに　一人たたずみ
もう　いない　君を想った

ずっと　憧れた　最後の　雄叫びは
思い出が　頭の中　精一杯　駆け巡った

なぜ　なんだよ　なぜ　行ってしまうのか
なぜ　なんだよ　なぜ　行かなきゃいけない
いつまでも　傍において　きみを抱きしめたい
探してた　街のどこかで
涙して　ずっと　くちづけ　ながら
想い出の　場所へ　帰り　去って　いたから…

なぜ　なんだよ なぜ　行ってしまうのか
なぜ　なんだよ なぜ　行かなきゃいけない
いつまでも　傍において きみを　愛してたい
会いたいよ　会えるものなら

ほんとうに　サヨナラ　告げる　までに

言葉など　置き去りに　して　ゆけば　いいから…

ゆっくりと　汽車が 遥か　むこうに
ありがとう さようなら
また　会える日　まで また　会える日　まで
また　会える日　まで…

俺の中の英雄（ヒーロー）

作詞　岡本　悠／作曲　岡本　悠

１、今　ここで 自分が　生きていること
この手から 何かが　生まれてゆくのかもしれない
夢はもっているかい　愛を捨ててはいけない
目の前に　挫折が　立ちはだかっても
決して　あきらめないで
地道に行こうぜ　自分で選んだ　wow…　叫んだりせずに
笑い飛ばそうぜ　こんな世の中で　wow…　羽をはばたかせ
いつか掴み取ろうぜ　俺の中の英雄（ヒーロー）

2、 世の中　そんなに　思い通りいかない
それでも　逃げずに信じて　自分らしく生きたい
無理はしなくていい できるところまででいい
誰かに　馬鹿だと 笑われようとも
そんなの 何も　気にせず...
今すぐ行こうぜ　自分で選んだ　wow…　成功の道を
輝こうぜ　こんな世の中で　wow…　愛をチラつかせ
そして振り返った時　そこに答えはあるさ

走り出そうぜ　何度転んでも　wow…　立ち上がりながら
やる気を出そうぜ　元気な自分が　wow…　雄叫びをあげる
俺は　強く　生きたい　俺の中の英雄（ヒーロー）
俺の中の英雄（ヒーロー）